

千葉県循環器病対策推進協議会 令和4年度第1回脳卒中部会開催結果

- 1 日時 令和4年10月18日（火） 午後7時から午後8時30分まで
- 2 開催方法 オンライン開催
- 3 出席委員
(委員：総数名12中11名出席)
本宮委員、鮫島専門委員、瀨瀨専門委員、小林（英一）委員、古口委員、小林（士郎）委員、寺口委員、浅野委員、高原委員、角南委員、金江委員
(順不同)
※田中委員は所用により欠席
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶
 - (3) 委員紹介
 - (4) 議事
 - ア 千葉県循環器病対策推進計画（案）について
 - イ 令和4年度循環器病県民啓発事業について
 - ウ その他
 - (5) 閉会
- 5 会議概要
 - 委員紹介
 - ・新たに鮫島専門委員、瀨瀨専門委員を迎えたことを紹介。
 - 千葉県循環器病対策推進計画（案）に関する主な意見について
 - ・ 神経内科、神経内科医という用語が出てくるが、現在、日本神経内科学会の方で、脳神経内科というふうに名称を改めると。脳神経外科との脳神経内科とか並ばれるように、名称変更して、今多くの施設が変更していると思うので、脳神経内科の方が適当かと思う。
 - ・ 喫煙に関する指標の追加については、受動喫煙に対する害を認知していただきたいということと、なかなか施策が上手くいかないところもあるので、目標として載せた。また、施設内禁煙についても、一つの指標の参考になるかと思います。なかなか県庁内でも、今、施設内では駄目で、外に行って吸っていただく形になっているがまだ十分禁止されてない部分もあるため、受動喫煙の場を少なくするという意味で具体的に載せると良いと考える。

- ・ 歯と口腔の分野については、いわゆる 8020 運動っていうのは、千葉県は全国レベルよりも低い。全国では、3 年ぐらい前に 51.6% ぐらいに達成しているため、目標が 50% を設定することは悩んだが、とりあえず 50% を目指してやっていきたい。また、オーラルフレイル、摂食嚥下の問題については、どのように県民向けに周知をするかということで、本当に浸透しているかということをも、もう 1 回、医療連携を通じた中でやっていかなければいけないと思う。
- ・ 先ほどの心疾患部会でも同様の意見をしたが、救急搬送の現場到着、活動時間の短縮というふうに謳っているが、最近、救急出動が大分増えてきている現状があり、全国的に救急活動時間というのは、伸びてきている。

また 7 月、8 月は、コロナの爆発的な救急需要の影響を受けて、今年度はさらに伸びると想定されているため、今、救急需要が高まっており、相対的に搬送時間も増えてきているということをご認識いただきたい。
- ・ 救急搬送については、都市部と郡部で、時間がかかる要因が全然違うというところがある。特に郡部は搬送時間が長くなり病院は割と限られた場所になるわけですから、そこまでどうやって早く搬送するかが課題となり縮めていくこと自体がかなり実は難しいことかと思う。当然、その差を縮めていくことは重要なのですが、特に夷隅を見ると、夜間の搬送時間すごく伸びる要因の一つは、多分ヘリ搬送といった手段が、夜間使えないっていう問題もあるため、そういったものが一つは鍵になるかもしれない。
- ・ リハビリに関しては、回復期のリハビリテーションの病床数自体がかなり増えていきますし、逆に過当競争に入ってしまう可能性がありますので、量の問題より質の問題に重点を置いた方が現実的なのかなと思う。
- ・ 91 ページのリハビリテーション等の取組で、千葉リハビリテーションセンターの名前がずっと挙がっているため、公平性の観点から、4 ケ所を括弧して入れる等、県立病院以外で同様に実施している病院も施設名を上げて紹介してもよいのではないか。
- ・ 就労支援について医療機関の関わりがすごく少ないと思う。リハの病院としては県内に回復期が 60 近くあると思うがそのうち 4 つしかやってないということである。若い年齢の人たちは絶対就労支援だとか、復職、運転再開に関係してくるため、それが 4 つしかないという事実を見ておきたいと思う。
- ・ 資料 1 - 2 について画期的だと思う。ロジックモデルの理念や、目標も分かったが、具体的にどうするのかというところまで踏み込んだ素晴らしい計画、表ではないかと思う。

- ・ 目標に対して、手がついていないところが一目瞭然としてわかるので、素晴らしいものだと思うので、おそらくこれ、このまま年々続けていって、次の保健医療計画や健康ちば 21 等にも同じような形で続けていただきたいと思う。

○ 令和 4 年度循環器病県民啓発事業について

- ・ 日本脳卒中協会でも、こういったリーフレットパンフレットがあるため、そういったものを参考にして、作っていただきたい。

6 閉会 午後 8 時 30 分